

# ヤンマーサッカーOB会

# 会報

■発行日：平成28年10月吉日

■発行責任者：曾根 政芳

第8号

## 鬼武健二氏の殿堂入り祝賀会開催 250人が祝福

日本サッカー協会(JFA)は、第12回日本サッカー殿堂に鬼武健二氏、故・松丸貞一氏、下村幸男氏、二宮寛氏の4名を掲額することを決定した。(8月7日にJFA公式サイトで発表)鬼武健二氏は1967年から78年までヤンマーの監督を務め、日本サッカーリーグ174戦で93勝を記録した最多勝監督。ヤンマーの黄金時代を築くとともに、ブラジル出身の選手をチームに溶け込ませて新しいスタイルを構築した。また、セレッソ大阪のJリーグ加盟にも尽力し、2006年に第3代Jリーグチェアマンに就任。「ACLサポートプロジェクト」の立ち上げによるJクラブのレベルアップ、イレブンミリオンプロジェクトによる集客施策、環境改善につとめ、日本サッカーの発展に多大な貢献をした。

2015年11月13日新阪急ホテルにて鬼武健二氏の日本サッカー殿堂掲額祝賀パーティーをヤンマーサッカーOB会主催、セレッソ大阪、大阪サッカー協会共催で開催。ヤンマー、ヤンマーサッカーOB、セレッソ大阪の関係者ら約250人が参加。JSL最多勝監督でもある鬼武氏から「みなさんがいい仕事をしてくれたお陰。たくさんお礼を申し上げたい」と感謝の言葉を述べられました。



### 平成27年度事業報告(自H27/5/21～至H28/5/20)

- 平成26年度ヤンマーサッカーOB会総会(H27/6/13)  
於：ヤンマー特機エンジン事業本部・厚生棟  
第1号議案・第2号議案・第3号議案 満場一致で可決
- 懇親会Jリーグ観戦(H27/10/4)  
セレッソ大阪 VS アビスパ福岡(参加者37名)
- ゴルフコンペ開催(YSG会)  
於：花屋敷ゴルフ倶楽部 よかわコース  
第33回(H27/10/27) 優勝：赤須 陽太郎氏  
第34回(H28/4/26) 優勝：三好 和久太氏
- 第6回ネルソン記念カップ開催(H27/11/22)  
十三回忌追悼試合  
オーバー50の部：優勝/オーバー60の部：準優勝
- 山岡社長チームとの定期親善試合 3試合(1勝1敗1分)  
第5戦(H27/6/13) 2対1  
第6戦(H28/1/31) 0対1  
第7戦(H28/5/29) 2対2
- 理事会の開催 6回開催

### 平成28年度事業計画(自H28/5/21～至H29/5/20)

- 平成27年度ヤンマーサッカーOB会総会(H28/6/11)
- セレッソ大阪応援横断幕更新(H28/8)
- ヤンマーサッカーOB会会報(第8号)発刊(H28/10)
- 尼崎マスターズサッカー大会参加(H28/11/27)  
於：尼崎市陸上競技場
- 第7回ネルソン記念カップ開催(H28/11/27)  
於：尼崎市陸上競技場
- ゴルフコンペ開催(YSG会)  
於：花屋敷ゴルフ倶楽部 よかわコース  
第35回(H28/10/25)  
第36回(H29/4/25)
- 懇親会Jリーグ観戦(H28/10/30)
- 山岡社長チームとの定期親善試合 2試合  
第8戦(H28/10/29)  
第9戦(H29/3)
- 理事会の開催 6回以上/年

## 先輩達のお陰です。ありがとう。



鬼武さん殿堂入りおめでとうございます。祝賀会では中央前列のテーブルに三好さん、大石、菊池、石黒、安達、北野、前田さんと私の席が設けられていました。OB会では長老組なのだと感じながら50年前に日本サッカーリーグ初戦に鬼武さんや同テーブルの方々と共に出場した当時は懐かしく思い出しながら祝賀パーティーのひと時を過ごしました。

私は中学では2年間サッカーに熱中、高校では1年間だけサッカーを楽しみました。ヤンマーサッカー部で活躍されていた学校の先輩の大石さん、菊池、石黒さんのお誘いで神崎に入社、ヤンマーサッカー部に在籍しました。

昭和36年入部当初から監督の配慮で未熟な私でしたが、多くの試合に出場させてもらい4年間を過ごしヤンマーの日本サッカーリーグ加盟に貢献できたと思っています。日本リーグ初戦では前半に出場し自分の力量不足を痛切に感じ、このまま在籍すればヤンマーの足を引っ張ると思い前期終了時に退部させてもらいました。

昭和60年頃、先輩トリオ(大石、石黒、菊池)の発案で勝負に拘らずサッカーを楽しむリサイクルズサッカーチームを作り尼崎サッカー協会に加盟、今はママさんチームや尼崎サッカー協会役員チームと楽しんでいます。

井上 洋介 1961 (S36) 入部

## 日本サッカー大丈夫!?



9月1日からW杯アジア最終予選が始まるがなぜか胸騒ぎがして落ち着かない。

1998年フランスW杯に出場決定した時は「まさか日本がW杯出場!？」と大いに興奮したものだ。私にとっては「夢のまた夢が実現」だった。ところが今の20代以下の若い人達は「W杯出場して当たり前」と感じているだろう。5回も出場していればそう思うのも当然。年々日本サッカーレベルも成長しているが、世界の成長度合いからすれば差はだんだん広がっているのは確か。アジアですら他国はだんだん

レベルが上がり、アジアNo.1になるのも難しくなってきた。2006年ドイツW杯を応援に行った際、各国のメンバーを見ると18、19才の若手選手が1チームに必ず1、2名登録されている。日本は24才が一番若手。その差5、6才に愕然とした。帰国後、日本協会トップに機会あるごとに「若手育成の急務」を訴えてきたがなかなか成果が出てこない。万一、今回予選敗退でもすれば今のサッカー人気は一気に冷めてしまうのではなかろうか。心配でならない。

安達 貞至 1961 (S36) 入部

## 山岡社長チームとの定期親善試合

第5戦 平成27年6月13日 於：ヤンマー尼崎グラウンド



好天に恵まれた中、平成27年6月13日ヤンマー尼崎グラウンドにて第5戦を実施しました。ジュリオ上田氏の活躍もあり2対1で初勝利を飾る。今回より女性チームも参加し、60歳オーバーとのスペシャルマッチも開催することになりました。

第6戦 平成28年1月31日 於：セレッソ大阪舞洲グラウンド



小雪が舞い散る中、平成28年1月31日セレッソ大阪舞洲グラウンドにて第6戦を実施しました。ポゼッションで支配するも1点を守り切れ敗戦。通算成績は1勝2敗3引き分けとなりました。

## 第2回ヤンマーグローバルサッカー大会 エキシビションスペシャルマッチ

平成 28 年 5 月 29 日 (日) キンチョウスタジアムにおいて開催された、ヤンマーグローバルサッカー大会のエキシビションスペシャルマッチに参加しました。対戦相手は山岡社長率いる「チーム走やん」。

ヤンマーサッカー OB は 22 名参加。初参戦の森島寛晃氏(モリシ)、梶野智氏、貴志俊治氏、田中和也氏、長尾光弘氏、宮本功氏の若手 6 名が大活躍。試合は一進一退の攻防、前半は 2 点リードされたがモリシのゴールで 1 点取り返す。後半はボールを支配するもなかなかゴールが決まらず、最後は GK 長尾光弘氏をトップに置いてパワー攻撃、試合終了間際で同点に追いついた。

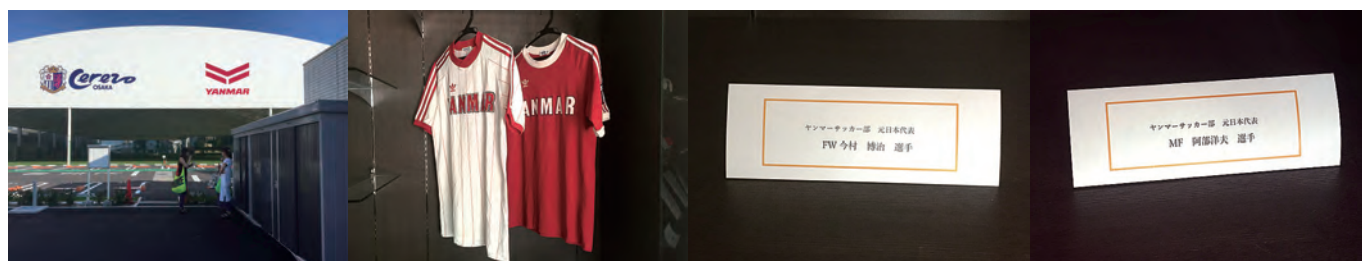
平成28年5月29日 於：キンチョウスタジアム



## セレッソフットサルパーク内にヤンマーサッカー部ユニフォーム展示

セレッソフットサルパークオープンに合わせ、場内展示コーナーにヤンマーサッカー部のユニフォームが特別展示されました。

今村博治氏・阿部洋夫氏 提供 展示期間：平成 28 年 5 月～ 10 月



## セレッソ応援横断幕更新

平成 18 年セレッソ大阪に寄贈した応援横断幕ですが、経年とともに色褪せてきましたので、このたび新規に製作し寄贈しました。前回との変更点はセレッソ大阪キャラクター「ロビー」と「ロビーナ」を追加、また字体を浮き出し文字にして立体感を出すようにしました。


サイズは前回の 1500mm×7500mm から 1500mm×9000mm と 1500mm 大きくしました。

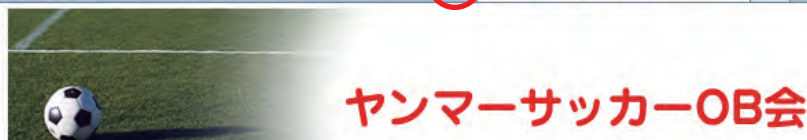


■ ヤンマーサッカーOB会のホームページは下記のURLで表示できます。

<http://www.yanmar-ob.com/soccer-ob/index.html>

※ホームページの情報の更新をお願いします。

ホームページは最新の情報を表示しない場合がありますので、最新情報を表示するためには更新が必要です。メニュー上段の  マークをクリックすると最新情報が表示されます。



## YSG 会だより

第33回 平成27年10月27日 於：花屋敷ゴルフ倶楽部 よかわコース



優勝 赤須 陽太郎  
準優勝 三好 和久太  
3位 松尾 輝夫

秋晴れの下 15名のレジェンドが参加。文句のつけようが無いコンディションの中、上位陣がしのぎを削る争いとなった。

ここ花屋敷 G.C. をホームとする三好和久太氏を抑えて優勝を飾ったのは、やはりこの人赤須陽太郎氏。グロスは落とすも H.C. に救われ見事に優勝。あまりの嬉しさに優勝賞金全額寄付というハプニングも飛び出し、おお盛り上がりのパーティーとなった。

第34回 平成28年4月26日 於：花屋敷ゴルフ倶楽部 よかわコース



優勝 三好 和久太  
準優勝 阿部 洋夫  
3位 村上 隆

小春日和に恵まれ第34回 YSG会を開催。過去最多の17名に参加いただき、ペナルティーの数もおおいに期待できた。

今回久々の参加となる北野修司氏、鬼武健二氏も悪戦苦闘しスコアはまとまらず。やはり上位にはホームコースの強みを生かした三好和久太氏。あとは中堅クラスの阿部洋夫氏、村上隆氏がつづく展開となった。

「今後の YSG 会の予定：4月・10月とも第4火曜日といたしますので、ご予約願います。」

## 新役員のご紹介

会 長	曾根 政芳 (S51)								
副 会 長	中谷 春夫 (S40)	下村 利男 (S54)							
会 計	杉浦 弘 (S55)								
参 与	三好和久太 (S33)	大石 正明 (S34)	石黒 清行 (S35)	鬼武 健二 (S37)					
顧 問	村上 隆 (S37)	今利 泰三 (S38)	前田 芳弘 (S40)	今村 博治 (S43)	別所 充 (S44)				
監 事	小野寺正芳 (S48)	矢野 正人 (S49)							
理 事	三井 朝治 (S37)	元川 勇 (S42)	赤須陽太郎 (S45)	阿部 洋夫 (S47)	玉田 稔 (S52)				
	ジュリオ上田 (S50)	沓掛 秀樹 (S61)	竹花 友也 (H4)						

## 新任のごあいさつ

私は20歳でヤンマーサッカー部に入部しました。それから40年経過した現在、振り返るとヤンマーサッカーが一番強かった頃に皆さんと一緒にプレーさせてもらったことは一生の宝物であります。同僚や先輩の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

このたび、多くの実績を重ねてこられました小野寺前会長の後任ということで正直荷が重いと感じています。至らない点も多いと思いますが精一杯やりぬこうと思っています。ヤンマーサッカー OB 会の目的は会員相互間のさらなる親睦と後輩であるセレッソ大阪にエールを送り続けることでもあります。

皆さんどうかご支援とご協力をお願い申し上げます。



曾根 政芳 1976(S51) 入部

## 会長退任のごあいさつ

OB 会会長を 4 年間務めさせて頂きました。振り返りますと、セレッソの森プロジェクトへの参加、釜本邦茂氏が旭日中綬章を受章、山岡社長チームと定期戦を開始など、嬉しい、そして楽しいことが多々ございました。また、OBの皆様に、より身近に感じて頂くため、ヤンマー(株)OB会のご協力を得て、ヤンマーサッカー OB 会のホームページをリニューアル致しましたことも思い出します。定期的で開催する OB 理事会では事業計画を進めるべく議論し、且つサッカー談議で盛り上がることも楽しい思い出です。理事・役員の皆様には多大なるご協力を頂き、大変感謝しております。

今後も、OB 会の反映に微力ながら務めてまいりたいと思っています。ありがとうございました。



小野寺 正芳 1973(S48) 入部

# 入部年別部員一覧 <215名>

ヤンマーサッカー部員の名簿に誤りがありましたので訂正してお詫び申し上げます。

・1962年(昭和37) (誤)二井→(正)三井 朝治(トモハル)・1964年(昭和39) (誤)三井→(正)二井 正和(マサカズ)

<p><b>1957年(昭和32) 14名</b></p> <p>1・河瀬浩正 2・木村均 3・有村宏三郎 4・鈴木了 5・佐久間廣 6・竹村喜太郎 7・古城戸邦彦 8・大咲陽三 9・中林毅 10・古川能章 11・澤田秋志 12・国司寛隆 13・山村隆男 14・秋山辰男</p> <p><b>1958年(昭和33) 4名</b></p> <p>15・本田明弘 16・東田勝彦 17・井好和久太</p> <p><b>1959年(昭和34) 8名</b></p> <p>19・大西滋 20・三原哲郎 21・川端泰 22・大石正明 23・弘末徹夫 24・園田明 25・遠山勇夫 26・村上靖</p> <p><b>1960年(昭和35) 3名</b></p> <p>27・菊池秀男 28・石黒清行 29・大崎征治</p> <p><b>1961年(昭和36) 9名</b></p> <p>30・安達貞至 31・井上洋介 32・川村四郎 33・三本松修 34・平山幸雄 35・梶山明恵 36・岡崎三男 37・坂口三男 38・中山三穎</p> <p><b>1962年(昭和37) 9名</b></p> <p>39・鬼武健二 40・山崎正人 41・北野修司 42・富田英雄 43・中川隆二 44・村上隆明 45・園田明治 46・三井朝信 47・小林信三</p> <p><b>1963年(昭和38) 3名</b></p> <p>48・今利泰三 49・鈴木寛和 50・山中昇</p> <p><b>1964年(昭和39) 4名</b></p> <p>51・加茂周 52・牛尾寛武 53・二井正和 54・渡辺孫輔</p> <p><b>1965年(昭和40) 4名</b></p> <p>55・前田弘 56・内野和憲 57・志村光 58・中谷春夫</p> <p><b>1966年(昭和41) 4名</b></p> <p>59・辻康之一 60・寺崎享一 61・浜頭昌宏 62・柳田静也</p>	<p><b>1967年(昭和42) 13名</b></p> <p>63・出原弘之 64・西片信次郎 65・吉村大志郎 66・本下栄伴 67・山下秀一 68・小柴誠 69・釜本邦茂 70・水口次洋 71・阿部信武 72・元川勇 73・森田修 74・木津(土谷)博 75・松尾(吉川)輝夫</p> <p><b>1968年(昭和43) 11名</b></p> <p>76・カルロス・エステベス 77・笠井孝司 78・三田僥 79・今村博治 80・木村文栄 81・湯口栄蔵 82・小川豊 83・上藤栄壮 84・井上俊一 85・高田穂 86・松岡登志男</p> <p><b>1969年(昭和44) 4名</b></p> <p>87・熊本一郎 88・別所充 89・北村重夫 90・辻和彦</p> <p><b>1970年(昭和45) 5名</b></p> <p>91・楠目(田上)敏之 92・赤須陽太郎 93・野田義一 94・成川博夫 95・吹田茂夫</p> <p><b>1971年(昭和46) 7名</b></p> <p>96・松村雄志 97・水口利男 98・熊川忍 99・三田寛 100・堀井美晴 101・稲垣洋志 102・小林・ジョージ</p> <p><b>1972年(昭和47) 4名</b></p> <p>103・阿部洋夫 104・坂野博 105・大畑行男 106・西野修</p> <p><b>1973年(昭和48) 6名</b></p> <p>107・上西一雄 108・橋本好隆 109・瀧利明 110・アントニオ・トリンカ 111・山本ネルソン 112・小野寺正芳</p> <p><b>1974年(昭和49) 5名</b></p> <p>113・垣内輝久 114・山田祐史 115・矢野正人 116・吉田保善 117・村山富善</p> <p><b>1975年(昭和50) 5名</b></p> <p>118・ジュリオ・上田 119・菊池健之 120・倉田史嗣 121・ロベルト・米谷 122・ビタヤ・ラオハクル</p>	<p><b>1976年(昭和51) 8名</b></p> <p>123・奥出章寛 124・亀田忠幸 125・ルイス・米谷 126・曾根芳政 127・白石義勝 128・加藤実信 129・曾根政信 130・上野山信行</p> <p><b>1977年(昭和52) 9名</b></p> <p>131・藤原義三 132・湯浅真一 133・中村政巳 134・玉田稔三 135・岡崎有敬 136・岡月紀要 137・富沢民勉 138・境 139・ヘナト・ストッキー</p> <p><b>1978年(昭和53) 6名</b></p> <p>140・山野孝明 141・安田一仁 142・鈴木康博 143・副島志二 144・浜田浩二 145・山野孝義</p> <p><b>1979年(昭和54) 7名</b></p> <p>146・楚輪博 147・坪和田美勝 148・川口博次 149・上田博男 150・下村利和 151・福田安正 152・山口正信</p> <p><b>1980年(昭和55) 7名</b></p> <p>153・長谷川久 154・馬場俊明 155・貴志治弘 156・杉浦重彦 157・菅野重彦 158・横江ひろし 159・モレイラ・ディアス</p> <p><b>1981年(昭和56) 4名</b></p> <p>160・西村昭宏 161・小松晃洋 162・草木克義 163・太宰一</p> <p><b>1982年(昭和57) 2名</b></p> <p>164・松下浩一 165・佐賀清慈</p> <p><b>1983年(昭和58) 2名</b></p> <p>166・梶野智幸 167・白沢久則</p> <p><b>1984年(昭和59) 3名</b></p> <p>168・上辻正夫 169・見崎敏弘 170・伊藤祐二</p> <p><b>1985年(昭和60) 4名</b></p> <p>171・神尾明宏 172・井谷昌二 173・平井良和 174・井上佳博</p> <p><b>1986年(昭和61) 6名</b></p> <p>175・西出拓司 176・東賢治 177・沓掛秀樹 178・小西忍 179・ジョナス・S 180・ワンデルラン・S</p>	<p><b>1987年(昭和62) 1名</b></p> <p>181・田中和也</p> <p><b>1988年(昭和63) 4名</b></p> <p>182・梶野智弘 183・長尾光弘 184・マルコス・A 185・ジョゼ・A</p> <p><b>1989年(平成1) 3名</b></p> <p>186・濁沢一仁 187・マウロ・F 188・セルジオ・A</p> <p><b>1990年(平成2) 3名</b></p> <p>189・山田泰寛 190・西ヶ谷卓也 191・川前力也</p> <p><b>1991年(平成3) 9名</b></p> <p>192・宇野秀徳 193・皆本勝弘 194・高橋貴史 195・森島晃郎 196・武田治郎 197・横山昭 198・パウテル・F 199・エリエル・E 200・ジュリオ・S</p> <p><b>1992年(平成4) 7名</b></p> <p>201・横山恵介 202・宮本功一 203・牧田寛幸 204・相貝幸一 205・山崎伊智朗 206・塚本明正 207・竹花友也</p> <p><b>1993年(平成5) 8名</b></p> <p>208・三浦慎一 209・石川尚大 210・北出尚浩 211・石田浩 212・佐々木洋 213・吉山修誠 214・亀谷 215・ロナウド・M</p> <p><b>&lt;物故者&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山岡浩二郎(総監督)</li> <li>・東弘</li> <li>・河瀬浩正</li> <li>・鈴木寛</li> <li>・中山西三</li> <li>・山崎正信</li> <li>・小山林市</li> <li>・志村光</li> <li>・牛尾寛武</li> <li>・森田大志郎</li> <li>・吉田村口</li> <li>・村山上</li> <li>・川口勝信</li> <li>・阿部石</li> <li>・吹田茂夫</li> <li>・園田俊明</li> <li>・山田泰寛</li> </ul>
--	---	---	--

訂正がございましたら下記へご連絡をお願いいたします。

(株)神崎高級工機製作所 総務部 下村宛 TEL 06-6491-1111